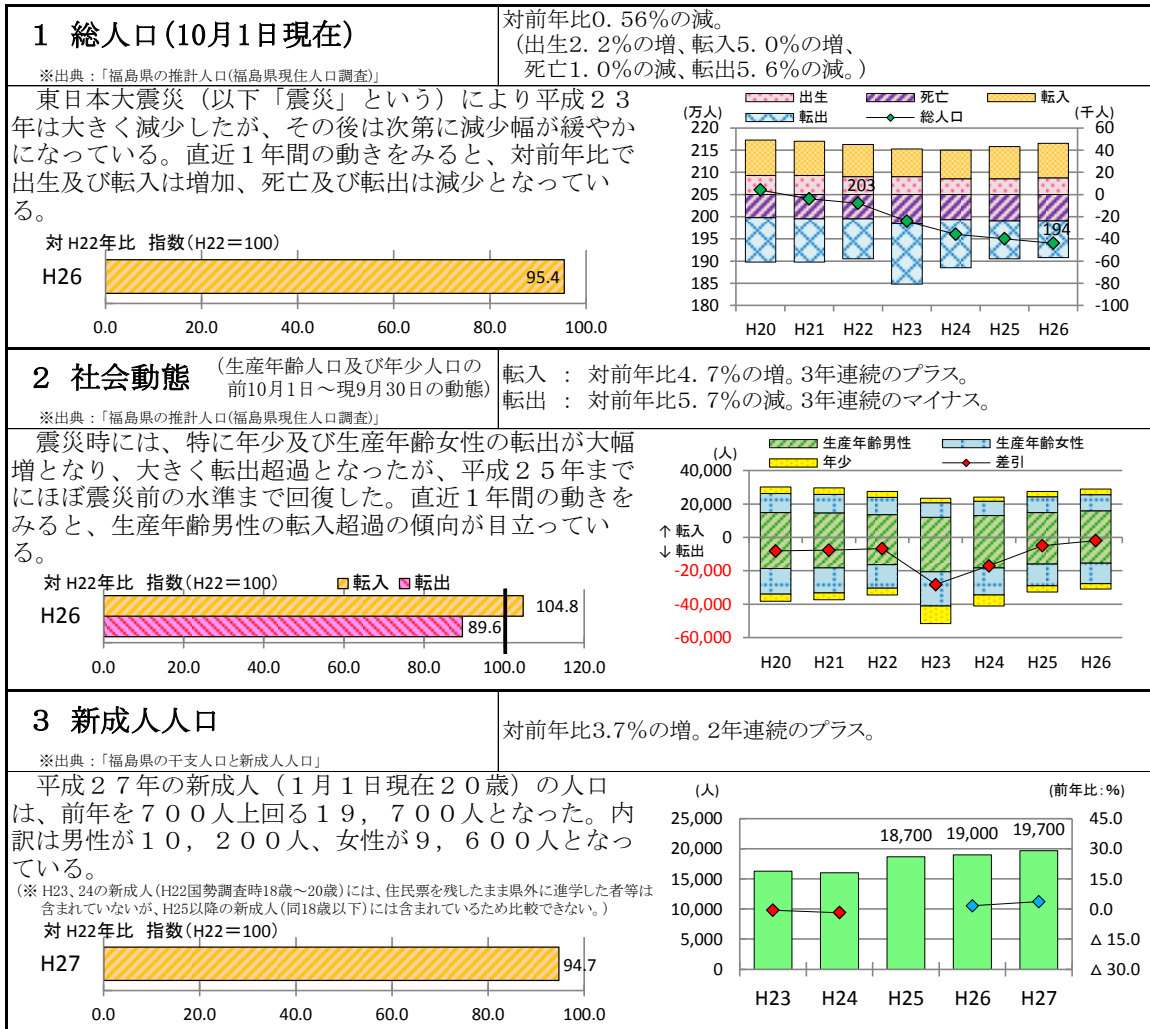


10の指標にみる福島県の復興 Ver.7

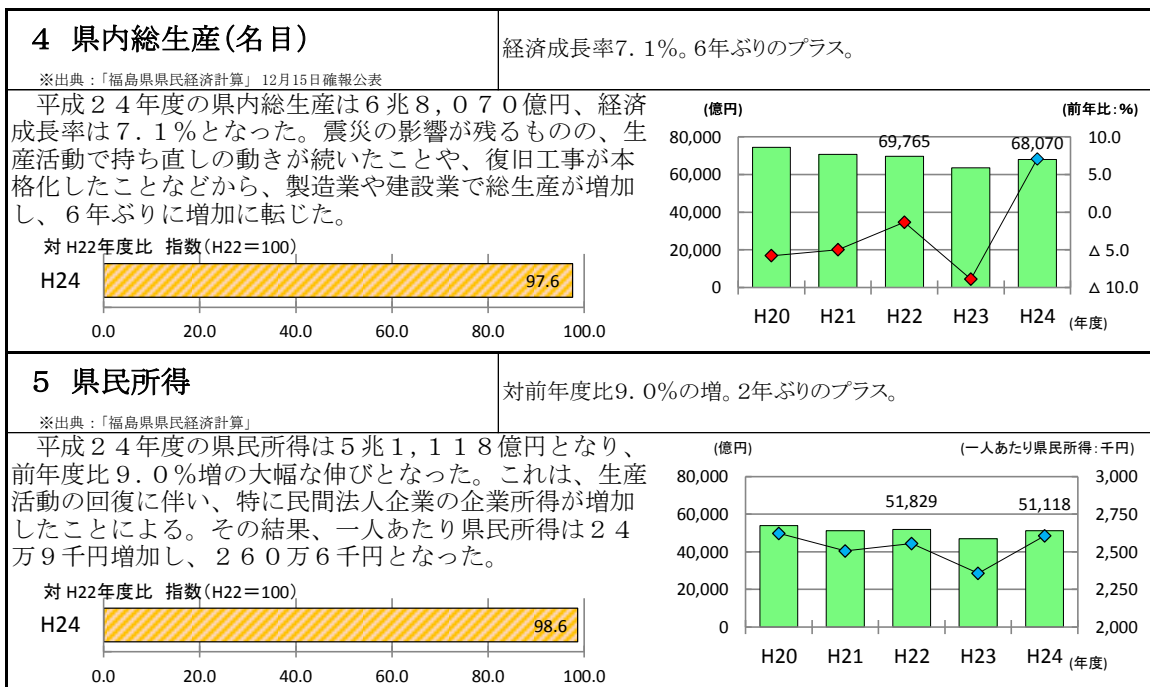
平成27年1月5日

◎ 人口に関する指標



NEW!

◎ 経済に関する指標



NEW!

NEW!

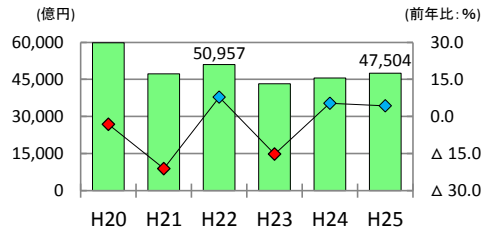
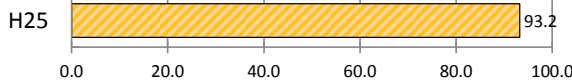
6 製造品出荷額

対前年比4.3%の増。2年連続のプラス。

※出典：「工業統計調査」ただしH25は速報による。

平成23年は震災の影響により多くの品目で出荷額が減少した。その後は、電子部品や情報機器など出荷規模の大きい分野がやや低調であるものの、飲食料品や輸送機械等の分野が好調だったことから、全体としては震災前の9割を超える水準まで回復している。

対H22年比 指数(H22=100)



NEW!

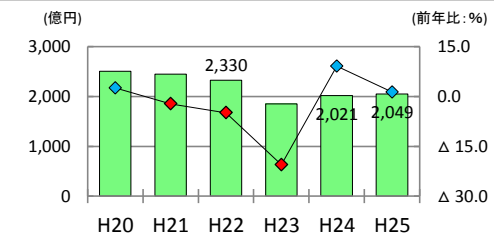
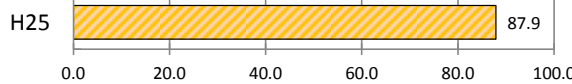
7 農業産出額

対前年比1.4%の増。2年連続のプラス。

※出典：農林水産省「生産農業所得統計」

平成25年の農業産出額は2,049億円と2年連続で増加した。平成23年はほぼ全ての品目で減少したが、本県の特産品である桃、きゅうり等が震災前の水準を取り戻すなど、着実に回復してきている。

対H22年比 指数(H22=100)



8 林産物素材生産量

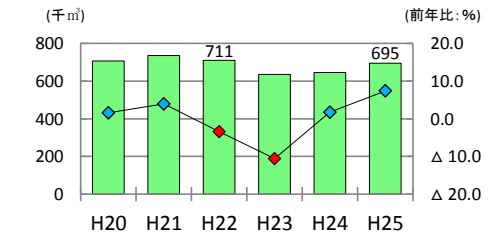
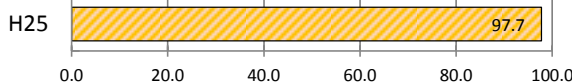
（建築材、木製品
及び燃料等に
用いられる木材）

対前年比7.4%の増。2年連続のプラス。

※出典：農林水産省「木材統計調査」

平成23年は全体的に落ち込んだが、その後木材チップ用や製材用の素材生産量が回復し、平成25年には震災前とほぼ同水準となった。震災後の住宅着工の増加や、バイオマス発電施設稼働等による燃料需要増が寄与しているものと見られる。

対H22年比 指数(H22=100)



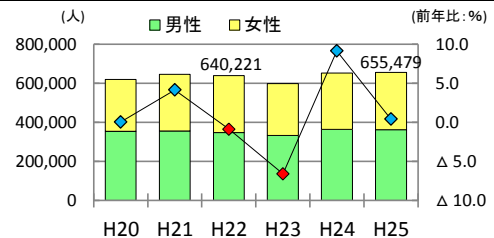
9 常用労働者数

対前年比0.4%の増。2年連続のプラス。

※出典：「毎月勤労統計調査地方調査年報」

震災のあった平成23年は前年比約7%の減少となった。特にパートタイムの女性労働者の減少率が大きく、避難の影響と見られる。その後、製造業、建設業及び運輸業で主に男性労働者が、飲食サービス業等で女性労働者が増加し、震災前の水準まで回復した。

対H22年比 指数(H22=100)



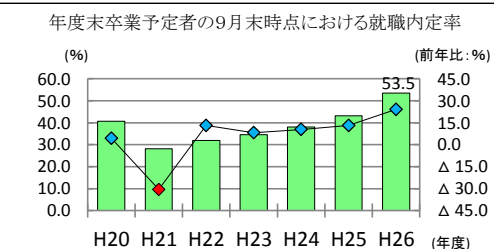
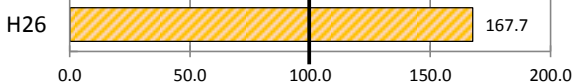
10 高校卒業予定者の就職内定状況

対前年比24.1%の増。5年連続のプラス。

※出典：県雇用労政課業務資料

来春高校卒業予定者の9月末時点における就職内定率は、53.5%と過去10年で最高の水準となった。このうち、県内企業への就職割合（県内留保率）は80.0%となり、震災以降3年連続で増加している。

対H22年度比 指数(H22=100)



※ 各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計（ふくしま統計情報BOX等）をご覧ください。